



4/20 Hirado City Photo News
歴史あるお庭を散策



市内にある武家屋敷や旧家6カ所のお庭を一般公開する「平戸お庭めぐり」が開催されました。平戸庭を守る会が、先祖伝来の和風建築の魅力を伝え、文化財の継承につなげるために始め、今回で18回目を迎えました。

旧家の中には、国の有形文化財に登録されている住宅もあり、普段あまり見ることのできない貴重な展示品や書物なども公開されました。訪れた人たちは旧家や武家屋敷ならではの平戸の歴史に触れていました。

4/19 Hirado City Photo News
和やかにグラウンドゴルフ



総合運動公園ライフカントリーで、平戸市グラウンドゴルフ協会主催の「平戸ツツジグラウンドゴルフ大会」が開催されました。大会には市内外から56チーム、340人の参加者が集まり、2日間で48ホールをプレーしました。

参加者は和気あいあいとプレーし、他チームの参加者との交流を深め、春の陽気の中、日ごろの練習の成果を競いました。また、グラウンドの周辺に咲く、見ごろを迎えた満開の平戸ツツジも鑑賞しました。

4/19 Hirado City Photo News
春日米のかんころ餅に舌鼓



春日集落の棚田米を使った「平戸春日米のかんころ餅」の発売にあわせ、集落の案内所「かたりな」で試食会が行われ、訪れた多くの人たちでにぎわいました。

棚田の保全と活用を目的に、春日町まちづくり協議会「安満の里春日講」と佐世保市の菓子製造販売「草加家」が協力して開発しました。

試食会では、餅つきの実演が行われ、住民や観光客につき立てのかんころ餅や炭火で焼いた香ばしいかんころ餅が振舞われました。

4/18 Hirado City Photo News
新たな交流の架け橋に



本市の新しい国際交流員として着任した^{ていせいろう}丁睿朗さん(中国北京市出身)に辞令が交付されました。

丁さんは、北海道大学大学院を修了後、同大学事務局に1年間勤務し、その後中国に帰国し医療関係の日系企業で働いていました。

今後は、国際交流事業やイベントでの通訳、SNSでの情報発信などを行い、新たな交流の架け橋として活躍が期待されます。丁さんは「平戸の皆さんと心暖まる交流をしながら、友好を深めていきたいです」と抱負を述べられました。

4/26 Hirado City Photo News
災害時の被害状況の把握に



平戸市役所で「災害時における無人航空機による協力に関する協定書調印式」が行われました。

市内において、大規模な災害が発生した際、田平まちづくり運営協議会所有の無人航空機(ドローン)を使い上空から被害状況を確認したり、赤外線カメラを使い夜間の行方不明者の捜索を行うことなどを想定しています。

田平まちづくり運営協議会の松瀬会長は「市内全域で災害が発生した際、いち早く被害状況の把握ができるよう協力していきたい」と話しました。

4/20 Hirado City Photo News
利用者への安全面を考慮して



3月に供用開始した深川町の市道山中・紐差線の新安満大橋で開通記念式典が行われました。

平戸北部から中南部に向かう道路にある安満大橋は、道幅が狭く急カーブで大型車などの事故が多発していたため、市が約8億円をかけて新たに道路と橋を整備。道路幅もこれまでよりも拡張され、またカーブも緩やかになり、通勤通学の利用者なども安心して通行できるようになりました。

式典終了後には、地元園児のエイサーを先頭に地元関係者など約80人で渡り初めが行われました。

4/20 Hirado City Photo News
春の風を感じながらウォーク



春の平戸路の景観を楽しみながら歩く「平戸春風オルレ」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、市内外から91人が参加し、春の風を感じながら爽やかな汗を流しました。

参加者の皆さんは、平戸港交流広場をスタートし、川内峠や平戸ザビエル記念教会、平戸オレンジ商館などの観光地を通る約13kmのコースを歩きました。コースの途中では見ごろを迎えた満開の平戸ツツジの花を写真に収めたり、記念写真を撮ったりしながらウォーキングを楽しんでいました。

4/19 Hirado City Photo News
春日集落でお田植え祭



世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である春日集落で「お田植え祭」が行われました。

県内の45歳以下の若手神職でつくる県神道青年会主催で、昨年の世界文化遺産登録や安満岳の開山1300年などを祝おうと企画されました。

当日は、住民ら約50人が出席し、参加者が白装束の田主や着物姿の早乙女に扮し、厳かに苗を植えました。今回植えたお米は8月以降に収穫し、伊勢神宮や県内の神社などに献上されます。



5/12 Hirado City Photo News
今年の新酒でほろ酔い気分



森酒造で毎年恒例の「酒蔵開き」が行われました。当日は、森酒造が製造から販売までを行っている平戸産のお米を使ったお酒や平戸夏香を使ったりキュール、数量限定のお酒などを試飲することができ、多くの来場者が新酒の味を堪能していました。酒蔵内では、ピアノとバイオリンのコンサートやお酒の製造行程の説明を受けながら歩く酒蔵見学などのほか会場の外では、雑貨屋や地元の特産品の販売、餅つきなども行われ、家族連れなどでにぎわいました。

5/11 Hirado City Photo News
地域医療とまちづくり



平戸文化センターで「地域医療とまちづくり～まちの幸福の創り方～」と題して、宮崎県北の地域医療を守る会の福田政憲事務局長による講演会が行われました。平成21年1月に、宮崎県北地域の中核病院である宮崎県立延岡病院医師の大量退職をきっかけに、行政・市民が一体となり、地域医療を守る活動が始まった経過や、全国の市町村で初めて市民・医療機関・行政がそれぞれ責務をもつ「延岡市の地域医療を守る条例」制定の経緯などを説明しました。

5/3 Hirado City Photo News
白月の生月で大物ゲット



生月町館浦ふれあい広場一帯で「いきつき春の白月市」が開催されました。地元の館浦漁協や平戸市商工会などでつくる生月町玄関口活性化協議会が、地元の特産品PRや地域活性化を目的に開催。ステージでは、地元高校生による太鼓やダンス、ご当地アイドルのライブなどが行われ、会場内ではすりみ揚げや地元海産物、アゴだしを使ったラーメンなどが販売されていました。魚のつかみどりでは、小学生以下の子どもたちが水槽で泳ぐ約120匹の大きな魚を追いかけていました。

4/28 Hirado City Photo News
魚市場で田平の春のにぎわい



平戸魚市場で「第42回平戸市たびら春まつり」が開催されました。ステージイベントでは、地元園児のダンスや中学生の演奏などが行われました。また、地元農産物、海産物、園芸品、地元食材を使った料理、イノシシ肉を使ったソーセージ、田平産平戸牛なども販売されていました。買ったものをその場で焼いて食べることのできるバーベキューコーナーも人気で、多くの人でにぎわいました。

5/17 Hirado City Photo News
かれんに咲くミステリーローズ



平戸オランダ商館に「平戸ミステリーローズ」が展示されています。平戸ミステリーローズは、武家屋敷や寺社を中心に人知れず咲き続ける古いバラで、中国から持ち込まれたとされていますが、由来に謎が多いことからミステリーローズと呼ばれています。北松農業高校の生徒が接ぎ木して栽培し、保存活動を行っており、5品種を栽培しています。展示されている「勝しょうひく白」という品種は今年初めて開花し、白い小さい花を咲かせています。

5/17 Hirado City Photo News
政府の観光施策と城泊



平戸文化センターで「観光立国を目指して～政府の観光施策と城泊の位置づけ～」と題し、観光庁長官の田端浩氏の講演が行われました。田端氏は講演に先立ち、平戸城や世界文化遺産の構成資産である春日集落を視察されました。当日は、市内事業者や市職員など約200人が出席。田端氏から日本の観光の現状や今後の観光施策の方向性、政府としての城泊の位置づけなどの説明がありました。講演後には、城泊について黒田市長とのトークセッションも行われました。

5/11 Hirado City Photo News
南部地区の魚とお酒を堪能



志々伎漁港で「第19回志々伎漁協お魚まつり」と福田酒造の酒蔵開きが行われました。お魚まつりは、日本でも有数の天然ヒラメの水揚げを誇る志々伎漁協が毎年開催しており、地元小学生のよさこいやマグロの解体ショーが行われ、あんこう鍋の無料配布には長蛇の列ができていました。福田酒造の酒蔵開きでは、フルーティーな飲み口が特徴の「長崎美人」の蔵開き限定酒や甘口でまるやかな味わいの「福田うすにごり」の試飲に多くの愛飲家が詰め掛けました。

5/3 Hirado City Photo News
多くの観光客でにぎわう



平戸大橋公園特設会場で「第24回平戸海道渡海人祭」が開催されました。3日間とも好天に恵まれ、観光客や帰省客、家族連れなど延べ2万6千人を超える来場者でにぎわいました。会場では地酒や海産物、菓子などを販売する26店舗が並び、来場者がお目当ての品を買い求めていました。また、毎年恒例のタコのつかみどりや、地引網体験・魚つかみ大会など子どもたちに大人気のイベントが行われました。